

令和元年度 市民意見交換会のご報告

名護市議会は、市民に直接お会いして、意見交換を行い、市民の多様な意見を把握し政策立案、政策提言等の強化及び市民福祉の向上につなげることを目的に、平成26年から名護市議会「市民意見交換会」を開催しています。

令和元年度は、5地区(屋我地、羽地、屋部、名護、久志)で開催し、計95人の市民が参加し、意見や要望をいただきました。それぞれ議員の立場から回答し、本市議会への活動にご理解を賜りました。

また、参加された市民からの意見を本市議会の広報広聴委員会において協議・精査し、下記の事項を市政への政策提言とすることに決定し、令和2年7月1日に渡具知市長に本市議会からの提言として、提言書を手交し、令和2年7月28日に名護市長から回答がありました。

重点要望事項

1 市内全域の超高速ブロードバンド環境整備の推進を求める。

(回答) 要望に対応すべく、屋我地地域、屋部地域(安和、山入端、勝山及び屋部の一部)、二見以北地域について、高速大容量の通信を可能とする民需系の超高速ブロードバンドサービスの提供環境を早急に整備できるように検討を加速して参ります。(令和2年8月6日開催の第295回臨時会において予算可決)

2 緊急浚渫推進事業を活用した市内河川等の緊急調査及び水害対策の実施を求める。

(回答) 市内を流れる河川は、沖縄県が管理する2級河川、本市が管理する準用河川及び普通河川があり、財源不足等の理由により、整備が遅れている件については、沖縄県が管理する2級河川です。

本市が管理する河川については、平成29年度より、毎年度平均6本の河川を浚渫しております。今後もパトロール及び区や市民からの情報提供など、協力をいただきながら引き続き維持管理に努めていきたいと考えています。

各地区で出された要望等について、一部を紹介します。

■屋我地地区

(令和元年11月29日開催)

Q 屋我地地区の人口減少防止策を求める。土地改良事業等により宅地が少ない。人口を増やすためにも、農地から宅地へ変更できないか。

A 屋我地地域は、名護市でも最初に土地改良事業が導入され、その後国営かんがい排水も補助事業で整備された地域です。農用地区域として補助事業で整備された畑地を農用地区域から除外し宅地へ変更することについては、補助事業の要件等の縛りがあるため、慎重に議論することが必要であると考えています。

Q 屋我地中学校跡地利用と同校体育館の武道館的活用を求める。市営住宅の増設と入居資格対象要件を拡充してほしい。

A 屋我地中学校の跡地利用については、関係部署と連携を図りながら地域住民の要望等を確認し、跡地利用の促進に取り組みます。

旧屋我地中学校の体育館においては、現在、地域の空手道場やミニバスケットボールクラブのほか地域行事などでの利用があり、武道での利活用は可能と考えておりますので、地域及び各種団体、関係課と連携を図り計画していきます。

併せて、屋我地地域においては、屋我市営住宅が築38年経過し、屋我区及び移住者の皆様からも建替えが陳情として議会へ上げられて採択していることから、2024年の完成を目指し建替えを予定しています。屋我地域の他区からは、現在要望が出されておらず区内での合意形成が必要です。入居の資格は、公営住宅法に基づき、「公営住宅は住宅に困窮する低額所得者に低廉な家賃で賃貸し、または転賃することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与すること」が目的であるため、入居の要件が定められています。

■羽地地区

(令和2年2月12日開催)

Q 田井等区に、有料でもいいので高低のあるきれいなパーク

ゴルフ場を造ってほしい。

A 事業用地確保に向け用地取得及び物件補償を進め、ある程度事業用地を確保した時期に施設の実施設計を行う予定です。パークゴルフ場の規模等については実施設計時に決定しますが、公認コース同等を予定しています。

Q 区の財源が非常に少ないため、行政事務委託料を増やしてほしい。

A 行政事務委託料は、世帯人口、面積を基準に算定しており、基準数値の増加によるもの以外の増額は難しいです。財源が乏しい区に対しては、コミュニティ基盤強化補助金を交付しています。

財源を増やすためには、収益事業を行うことなども検討していただきたいです。

■屋部地区

(令和2年2月12日開催)

Q サッカー・ラグビー場はどのように整備するのか。

A 21世紀の森公園内のサッカー・ラグビー場は今回2面整備の拡張及び管理棟の整備を予

定しております。併せて、グラウンド・ゴルフにも使用できる計画になっています。

■名護地区

(令和2年2月13日開催)

Q 北部・やんばる地域での「医師・看護師の医療人」の人材確保・育成をお願いしたい。

A 現在、慢性的な医師不足を解消し地域医療を安定的に提供するために、沖縄県と北部市町村会を中心に、県立北部病院と北部地区医師会病院を統合した「北部基幹病院」設立の協議が進められています。(令和2年7月28日、基本合意書締結)

北部地域における看護師養成機関は、名桜大学人間健康学部看護学科(修学4年、推薦定員30人/うち北部推薦枠15人、一般入試定員前期45人・後期5人計80人、看護師・保健師国家試験受験資格)と北部地区医師会北部看護学校(修学3年、入学定員80人、看護師国家試験受験資格)の2機関があります。名

桜大学看護学科卒業生の北部での就職率の低さが取り上げられています。北部基幹病院の設

立により、先駆的な看護が実践できる魅力ある病院づくり(人材確保)に期待が寄せられているところです。

北部広域市町村圏事務組合では、平成27年3月に医療環境整備に關した「北部地域の安全・安心な定住条件整備に向けた基本計画」を策定し、前記の北部基幹病院構想を「医療提供環境」整備の課題として挙げると同時に、医師・医療人材の確保のための施策の展開(医師・医療人材への各種支援を進めること)を方向付けています。

また、北部地域に限らず県内において薬剤師が慢性的に不足している状況を改善するために、沖縄県薬剤師会は、琉球大学への薬学部創設を働きかけています。

■久志地区

(令和2年2月13日開催)

Q 防災行政無線は、風向きによって聞こえづらい地域がある。専門家によるとタブレットの方が費用も安価になるとい

う。意見もあるので検討してほしい。間こえづらい地域については、防災行政無線聞き直しダイ

ヤル(52-1190)の周知に努めます。一般質問等でも取り上げられており、タブレットの導入も含め防災情報の伝達手段を多様化するための方策を検討していきたいと思ひます。

Q コミュニティバスについて、以前も実証実験を行ったはずだが、利用者が少ないという状況である。市民ニーズに合っていないからではないか。地域住民と話し合いを行い、他地域での成功例の検証もしてほしい。

A 今年度も実証実験を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、同事業の在り方を久志区長会と共に検討した結果、今年度については、実証実験を見送ることとなりました。他地域の現状も研究しながら、令和3年度に実施します。

今後とも市民の期待に応えられるよう、広く市民の声を聴くとともに、「市民の負託に的確に応え、市民に開かれ、市民と共に歩む議会」を目指し、不断の努力を行ってまいります。



左から、金城副市長、渡具知市長、大城議長、翁長広報広聴委員長、仲尾広報広聴副委員長

令和元年度の市民意見交換会の報告書等については、名護市議会ホームページに掲載しております。

<http://www.city.nago.okinawa.jp/soshiki/gikai/>

令和2年9月1日発行 名護市議会 広報広聴委員会

翁長久美子 / 仲尾ちあき / 長山 正邦 / 大浜 幸秀 / 吉居 俊平 / 川野 純治 / 宮里 尚 / 比嘉 勝彦 / 平 光男 / 比嘉 忍 / 金城 善英 / 神山 正樹

